

平成 24 年 9 月 5 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号
会 社 名 株式会社スリー・ディー・マトリックス
代 表 者 名 代表取締役社長 高村 健太郎
(コード番号: 7777)
問 合 せ 先 取 締 役 新 井 友 行
電 話 番 号 03 (3511)3440

自己組織化ペプチド技術の『軟骨細胞培養特許』に関する特許取得のお知らせ

当社が米国マサチューセッツ工科大学（以下 MIT）より独占実施権の許諾を受けている自己組織化ペプチド技術について、軟骨細胞培養への適用に関して日本における特許が成立いたしました。同特許は米国・欧州において特許成立しておりましたが、日本国内でも成立となりましたのでお知らせいたします。

- 【発明の名称】 ペプチド足場での組織細胞のカプセル化およびその使用
【特許番号】 特許第 507629 号
【特許権者】 Massachusetts Institute of Technology

本特許は、自己組織化ペプチドを足場にして細胞を培養する方法とその応用に関する特許で、自己組織化ペプチドによる 3 次元足場環境下で軟骨細胞を培養することの有用性が示されております。現在は臨床応用に向けて、MIT の Grodzinsky 博士（本特許の出願人）、東京大学医学部附属病院ティッシュ・エンジニアリング部 部長の高戸 毅教授（当該分野の NEDO プロジェクトで当社が共同参画）が当該分野の研究を進め、論文、学会でその成果を発表しております。

軟骨細胞培養では、2 次元的（平面的）な培養面で継代培養を重ねると脱分化が進行し、細胞の機能が消失することが知られており、機能が維持された軟骨細胞を培養することは難しく、現在も多くの研究が進められております。本特許に示された 3 次元培養法は軟骨細胞の機能を維持できる培養方法の一つになります。

当社は今後も本特許を活用して再生医療領域での研究開発を進めてまいります。また現在は基礎研究段階ですが、骨再生・皮膚再生・臓器再生の各分野に有効な医療製品の開発を進め企業価値の拡大を図ってまいります。

なお、現段階においては、本件による本年度以降の業績予想への影響はありません。

以 上